

船舶事故等調査報告書

平成23年7月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011横第53号	
事故等種類	衝突（岸壁）	
発生日時	平成23年4月2日 17時20分ごろ	
発生場所	三重県四日市港第2ふ頭9番岸壁 (概位 北緯34°57.1′ 東経136°38.5′)	
事故等調査の経過	平成23年4月4日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 ^{ジャスミン エース}JASMINE ACE（パナマ共和国籍）、8,081トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 9167502（IMO番号）、WELL SHIPMANAGEMENT & MARINE（台湾）</p> <p>乗組員等に関する情報 船長（中華人民共和国籍）、締約国資格受有者承認証 船長（パナマ共和国発給）</p>	
死傷者等	なし	
損傷	本船 船尾右舷側擦過傷 岸壁 岸壁車止破損	
事故等の経過	本船は、船長ほか18人が乗り組み、全係留索を放した後、揚錨を行い、四日市港第2ふ頭9番岸壁を後進で出航中、平成23年4月2日17時20分ごろ、船尾部が岸壁に接近し、船尾右舷側が岸壁と接触した。 本事故による油の流出及び浸水はなかった。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北西、風力 5、視界 良好	
その他の事項	<p>本船は、バウスラスターなしの一軸一舵右回り船であり、左錨3節を使用して西を向いて入船右舷着けで着岸していた。</p> <p>船長は、水先人及びタグボートを使用せずに出港した。</p> <p>本船の積荷は、ベニヤ板であり、半載状態であった。</p> <p>本船の風上側には、上屋があったが、船首部分は上屋と上屋の間に位置していた。</p> <p>船長は、揚錨中、対岸の第1ふ頭への衝突又は第1ふ頭前面海域での乗揚の危険性を感じていた。</p> <p>本船の擦過傷は、長さ約7.4m、幅約0.25mであった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、四日市港の岸壁で離岸作業中、半載状態であり、全係留索を離して揚錨を行ったことにより、風と縮錨によって船首が風下に移動し、また、後進したこともあって船尾が風上に移動したことから、船尾右舷側が同岸壁に衝突したものと考えられる。</p> <p>船長は、上記の状況から風の影響を考慮した操船を行わなかったものと考えられる。</p> <p>船長は、対岸の岸壁への衝突の危険等を感じた</p>

		ため、船尾が風上に切り上がることを考慮しないで後進した可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が、四日市港の岸壁で離岸作業中、船長が風の影響を考慮した操船を行わなかったため、船尾右舷側が岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。	